講義名	研究演習Ⅰ		
講義コード	25207	授業形態	演習
担当教員	桑原　桃音		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 ５時限		
備考			

ゼミ

全学ゼミ

学部

全学部全学科選択可能

学科

全学部全学科選択可能

演習名

桑原桃音ゼミナール（メディア論、家族社会学）

概要説明

【概要】
　本を読みたい、文章をうまく書けるようになりたい、興味のあることを学術的に探索・研究したいけど苦手意識がある人でも、卒業論文が書けるように、ステップ式に指導していきます。問題意識を持ち、問いを立て、資料を収集し、資料を読み・分析し、他者に伝わるように文章で表現したり、プレゼンテーションをしたりする能力を培います。このような能力は大学を卒業した後も公私ともに役立ち、人生を豊かにするときもあります。

　テーマは学生の興味関心を優先するが、おもに教員が専門とする、家族、ジェンダー、セクシュアリティ、恋愛、結婚、若者、日本文化、サブカルチャー、メディア等について社会学的に分析・考察していく。近現代メディアを主たる分析対象とします。

　先行研究を読み、資料を分析、考察するなかで、ディスカッション、プレゼンテーション、文章作成の能力を身につけてもらいます。関連するテキストの輪読・分析、資料の内容分析、必要があればフィールドワークなどを行い、レポートを、最終的に卒業論文を作成します。

【各年の計画】
［研究演習Ⅰ］
　自分の研究したいテーマやゼミのテーマにかかわる資料、基本文献など収集、読解して発表をします。書籍を1冊以上しっかり読んで理解する能力、論理的な文章を書く能力、プレゼンテーションの能力を培います。
教科書：西川真理子ほか『アカデミック・ライティングの基礎：資料を用いて論理的な文章を書く』（晃洋書房）。

［研究演習Ⅱ］
　卒業研究・論文に向けて、各自の興味あるテーマに関する文献を収集します。まとめて発表してもらいます。最終的に書評にしあげます。リサーチクエスチョンの切り出し方、参考文献、調査方法、調査データのまとめかたを学びながら、発表、論文の書き方などのアカデミック・ライティングのスキルを培います。最終的に研究計画書を作成し、レポートにまとめます。

［卒業研究］
　各自、テーマを決めて卒業研究に取り組みます。先行研究のまとめ、一次資料の分析結果などを発表してもらいます。最終的に卒業論文を執筆します。

※上記はあくまで予定です。ゼミ生の学部、社会学の知識、研究したい内容、興味などを確認しながら、メンバー全員で相談しながらゼミをすすめていきましょう。

【補足】
　家族、恋愛、結婚、セクシュアリティ、性的指向に関するテーマを取り上げることは可能ですが、自分の経験を話す必要は特にありませんので、ご安心ください。ゼミの参加者はこのような発言を強要してはいけません。あくまで、資料から問題関心の答えやそのヒントを得ることを目指してください。

学位

博士（社会学）

教員よりの要望

〇社会学的な思考枠組みを学びながら、メディアを資料として人の生や家族にかかわる問題を取り扱います。その問題を調査・研究して文章やPPTにしてプレゼンテーションをします。したがって、次のような学生を求めます。
・本を読んで、文章を書きたい。苦手意識はあるが本を読めるようになりたい、文章が書けるようになりたいという意欲がある。
・課題を締め切りまでに完成させて、提出することができる。
・議論や意見交換ができ、さらにグループで成果物を完成させることができる。
・人や集団に対して偏見をもたない。人に対して尊重の気持ちをもてる。

〇友人、先輩、後輩、家族と同じように卒業論文を書いて卒業したい人、就活中、就職後に自分の調査・研究していること/したことについて話せる程度にはなりたい人に向いています。

〇3年間に1度は書評コンテストや新聞への意見投稿を課していますので、そのような活動へ積極的に参加したい人を望みます。

教員英字氏名

Kuwabara Momone

研究室

研究棟Ⅴ　5422教室

最終学歴

龍谷大学大学院社会学研究科社会学専攻 博士後期課程 単位取得後退学

主な研究活動・社会活動・研究業績

【現在の研究テーマ】
・戦前戦後における配偶者選択に関する歴史社会学的研究――その連続と断絶について
・ティーンズ誌『セブンティーン』における女子中高生の恋愛・性愛言説分析

【主な研究業績】
◆単著：『大正期の結婚相談―家と恋愛にゆらぐ人々―』晃洋書房（2017）
◆共著：
・「〈私〉を書くことがもたらした境界の揺らぎ：1930年代『東京朝日新聞』「女性相談」と山田わかの回答」『女たちの翼 ―― アジア初期近代における女性のリテラシーと境界侵犯的活動』青木恵理子編、ナカニシヤ出版（2018）
・「1970～1990年代の『セブンティーン』にみる女子中高生の性愛表象の変容」小山静子、赤枝香奈子、今田絵里香編『セクシュアリティの戦後史』京都大学学術出版会（2014）

（そのほかの業績は流通科学大学のHPの教員プロフィールを参照）

主な卒業論文のタイトル

まだ卒業研究を担当していません。
以下はゼミ生の研究計画段階の題目（仮）です。
　「ゲーム実況で人気になるには――新人ゲーム実況者のためのルートマップ」
　「「男性化粧品」から考えるジェンダー論――資生堂男性化粧品の歴史」
　「人が血液型性格判断を信じてしまう瞬間はどんな時か――バーナム効果とステレオタイプの解消」
　「コロナ禍前後での就職活動における対話力の変化」
　「人種差別による被害者の苦悩――トランプ政権時の人種差別事件に焦点を当てて」
　「新型コロナウイルス下における人間の行動選択――行動心理学と経験論の結びつき」
　「大阪府の3地点における公共交通サービス、高齢者向け交通サービスの比較」
　「バブル期、マツダの過去の苦悩と復活のものがたり――開発者、チューナー、プロドライバーの視点から」

※ただし、研究計画段階であるため、内容が伝わりやすいように教員が題目にふさわしい形に若干の修正をしています。

趣味・特技

趣味は音楽鑑賞、ライブ鑑賞です。洋楽、邦楽、韓流、ジャンルに関係なく何でも聴くようにしています。好きなアーティストや楽曲を教えてもらえると小躍りするくらいうれしいです。あと、ホラーゲームとホラーゲームのゲーム実況をみるのが好きです。

所属

人間社会学部　人間社会学科

所属学会

・関西社会学会、ジェンダー史学会、日本家族社会学会、日本社会学会、日本女性学会、日本マス・コミュニケーション学会、社会調査協会

専門分野

社会学（おもに家族社会学）、ジェンダー／セクシュアリティ研究、メディア論（おもにメディア史）

選考方法

・提出された書類、面談、面談前後に行うメールのやり取りの内容で選考します。
・所定の期間に面談予定表とメールアドレス、メールに書くべき内容を掲示します。メールのマナーが目に余る学生は面談をお断りする場合があります（わからなければインターネット等で調べる）。

担当科目

自己発見とキャリア開発A、自己発見とキャリア開発B、社会学基礎（前期、後期）、メディア論、 キャリア社会学、ジェンダー論、社会構造論、社会調査実習Ⅰ、社会調査実習Ⅱ、研究演習Ⅰ、研究演習Ⅱ、卒業研究

備考

感染者、または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止される学生への対応について
１）欠席しなければならない授業の実施日以降の2週間以内に、授業時で指定した問合せ先にメールすること。

評価方法

出席、課題提出、積極的な参加などを総合して評価します。

実務経験の有無及び活用